

# THE ROTARY CLUB OF TSURUOKA



第 86 回 例会

1967年 2月 23日(木) 晴

会場 鶴岡商工会議所 3階ホール

続いてロータリー創立記念日家族会を催す。

## 次 回 例 会

—— 2月 28日 ——

卓話予定 「中小企業の現況と将来に就いて」

海東与蔵君 (会員)

## 出席報告 谷口君

本日の出席	会員数	43名	欠	阿部君 菅原君
	出席数	41名	席	以上2名
	出席率	95.35%	者	
前回の修正	前回出席率	83.72%	メイ ク ア ン ジ	2/13 東京 安藤君 2/14 村山 河村君
	修正出席数	6名		2/15 酒田 大野君 2/12 東京 佐藤(仁)君
	確定出席率	95.35%		2/2 山形 津田君 2/13 酒田 斎藤(得)君

司 会 小花会長

ソング 奉仕の理想

ゲ ス ト 高橋秀雄氏夫妻

名誉会員 松木市長

(リーダー丸谷君)

ビ ジ タ ー 荒井清君 (酒田RC)

青塚富次郎君 (酒田RC)

## 報告及び連絡 小花会長より

○ 2月18日(13時より) クラブアツセンブリー (於産産相互銀行会議室)

出席者 金井(国)君、丸谷君、大野君、早坂君、三浦君、飯白君、谷口君、三井君、小池君  
海東君、鈴木君、佐藤(仁)君、小花会長、佐藤(貞)幹事

議 題 1) 本年度活動計画に基いて、現今まで実施したこと。

3) 今後年度末まで実施予定のこと

3) 本年度に於けるクラブ全体の活動に就いて

等に就き各委員長より大々詳細なる説明あり、後16時まで活発なる意見の交換が行われた。

○ 2月20日18時より ファイアサンドミーティング (於美國)

## 鶴岡ロータリー・クラブ

事務所 { 山形県鶴岡市三日町  
鶴岡商工会議所内  
(TEL 123・1563)

例会日 火曜日  
例会場 ひさごや  
(TEL 707)

出席者 佐藤(伊)君 斎藤(得)君 高橋君 中台君 佐藤(仁)君 安藤君 小花会長 佐藤

佐藤(貞)幹事

- 姉妹都市ニューブラウンスウィツク RC 会長ビル君からの手紙を紹介申上げる。(22日荘内日報  
所載「早春にかおる日米親善」)

親愛なる盛雄さん

私達二つのロータリークラブの親しい交わりの故に、あなたを盛雄さんと呼ぶことをお許し下さい。若しあなたが私をビルと呼んでくれるなら、私は大変嬉しいのです。実際私達は仲間のロータリーアンをそのニックネームで呼んでおります。もし、そう呼ばないときは25セントを罰金として納めることにしています。

会長、盛雄さんに私はもつと早く手紙を書かねばならなかつたことをお詫び致します。あなたは最もご鄭重なる手紙を私に下さいましたが、その最後の手紙を受け取つてから2か月も経つてしまいました。

その手紙と一しょに送つてくれた写真、どうもありがとう。

6月、木谷博士(小花会長訪問の時の通訳 訳者註)をも交えて私達が一しょに過ごしたあの楽しかつた日の友情の記念としていつきでも残したいと思います。

今やロータリークラブの会長として、あなたの第2期の半分を過ぎそうとしているわけですが、鶴岡クラブのゆりかご時代を通して、あなたが非常に成功であつたようにこれからもご成功をお祈りしています。あなたはロータリーでの立派な動きの故に賞讃されるべき人です。ニューブラウンスウィツク、ロータリークラブの会員達は姉妹クラブとしてあなたのクラブを持つて嬉しく思つています。私達はこの姉妹関係について、よく話し合いましたジョセフ・クラ博士(ニューブラウンスウィツク・ロータリークラブの国際奉仕委員長 訳者註)からあなた達の動きについて聞いております。

クラ博士は近いうちに、あなた達の奉仕活動について報告することになつております。あなたは私達のクラブ会報を受け取つていることと思つていますが、私達のプログラムがご参考になるように希望します。

わがクラブの会員ジョージ・カラクーシユ夫妻は、3月にあなた達の美しい国を訪問します。3月2日に到着し、帝国ホテルに3月12日まで滞在します。私はジョー君に日本訪問中にあなたの所を訪ねないようでは、大変失望してしまいますよ、と強くいつておきました。どうぞ彼にあつて下さい。そしてぜひとも彼が鶴岡ロータリークラブを訪ねるようにして下さい。あの非常に美しい鶴岡ロータリークラブ旗は、いつでも私達の会合で誇らしくかけられてあるのです。

私達のロータリー地区協議会の呼びものの1つは、魅力的で可愛らしい、そしてロータリー基金奨学生である東京の三瓶千枝嬢でした。この若い婦人のお父さんは東京で医者をしているといひますから、あなたは知ることが出来ると思つています。彼女は非常に明るい人柄で、彼女の柔かいもの静かな態度は、その協議会を魅惑してしまいました。帰国に際して彼女の成功と幸福を私も願うようになりました。先日当クラブに寄贈して下さつた「これが日本」といふ本どうもありがとう。非常に役立つ、この本から私は日本の美術と文化について学びました。そして好きなことあるいは嫌いなこと、青少年の問題とか、さらに自分達の住んでいる国を平和と繁栄のうちに、よりよきものにしようとする努力においては、全く同じ人間であるということをも基本的知ることが出来て、非常な慰めになりました。とくに写真はよかつたですね。まるで日本を旅行しているようでした。他のロータリーアンがこの本を読んだ後は、まだたつた2才半にしかならぬ私のひとり娘が大きくなつて、この美しさが十分わかるようになつてからのために保存

しておくつもりです。私は山形県の所に鶴岡の写真が入っているといいなと思いました。この本の中に出てくる阿部金次郎さん(八坂町こけし製作者 訳者註)はロータリーアンなのでか。

三浦岩次郎さん(鶴岡ロータリークラブ国際奉仕委員長 訳者註)からも、非常に立派な手紙をいただきました。送つてくれた記念切手集はまことにデリケートな色をもつた大変美しいものでした。私は三浦さんがわがクラブ幹事のアート・マツキンニさんと交通されてゆくように希望します。

私達の地区ガバナーに提出したクラブ報告書の写しをあなたに今当お送りします。これはきつと私達のクラブがやつていることを、一目瞭然とするのに役立つでしょう。また、ジョンソン・ジョンソン(日本人墓地を修復してくれた製薬会社 訳者註)会報もお送りしました。それは次の2つの理由によります。

- ① 2,3,4頁にはニューブラウンスウィツク市の手短かな歴史的記述があります。
- ② ジョージ・カラグーシュ君が—その職業は写真印刷—この会報の印刷のために版画を製造した。

引続きご成功と、あなたとご家族の上にご幸福を祈ります。

1961年2月9日

ウィリアム "ビル" ゲブハート  
William "Bill" Gebhardt  
ニューブラウンスウィツク。

ロータリークラブ会長

- 来る3月2日 来日予定のニューブラウンスウィツクRCのジョージ・カラグーシュ君の写真を廻覧する。

その節吾々(小花、安藤、佐藤仁太郎の三君)は同君を帝国ホテルに訪ね、鶴岡にもお出で下さるよう希望する。

- 8名の新会員の方々にはそれぞれ次のような委員会のメンバーとして、奉仕活動して頂くようお願いする。 福島君 職業分類委員会 嶺岸君 会報委員会 中台君 親睦委員会

石井君 プログラム委員会 高橋君 国際奉仕委員会 佐藤伊和治君 会員選考委員会  
翁藤得四郎君 雑誌委員会 伊藤博司君 ロータリー情報委員会

### 幹事報告 佐藤(貞)幹事

#### 1. チャーター伝達式案内

豊田RC 4月8日10時より 柳川RC 4月27日10時より

#### 2. 仮クラブ設立案内 宇都宮東RC 例会一火曜日12時30分

#### 3. 例会時間変更 寒河江RC 総会を行ふ為3月2日の例会時間を17時よりに臨時変更

4. ガバナー月信紙9が到着致しました。1月の当クラブ出席率は94.64%で地区内で18位、県内で7位になつて居ります。出席は「親睦の第一歩」で御座いますので、家族の皆様方の一層の御協力をお願い致します。

5. 東京国際大会に参加予定の方は、目下のところ会員23名、家族17名となつて居りますが、まだ御申込にならない方は3月14日まで幹事へ御申越下さるようお願い致します。

### 出席報告 別項

出席奨励の意味で、例会毎に出欠を事務所から問合せを希望なさる方と、欠席の場合には自発的に事務所の方へ御通知下さる方を決めて頂き、励行しているが、新入会員の方々はどちらになさるか御希望をお聞かせ下さい。

- 開会の挨拶 小花会長
- 卓話 ロータリー創立記念日に当つて

ロータリーの生い立ちについて 安藤定助君

1. ロータリーの起源と発展

今から56年前の1905年(明治38年)当時アメリカでは経済恐慌の風が吹きまくり、人心はささみ犯罪は巷に満ちておりました。この時にあたり北米シカゴの一青年弁護士であつたポール P・ハリスはこうした社会現象を憂え、何とか人の和を図り世の中に奉仕することによつて住みよい社会を作らうとし、心の友を求めて3人の友人とシカゴに一つのクラブを作り、その会合の方法や会員を選ぶ方針に特異な工夫をこらして発足した。

即ち56年前の今月今夜、ポール P・ハリスは彼の弁護依頼人であり、友人であつた石炭商のシルベスター・シーエルと鉱山技師のガス・ローアと洋服商のハイラム・シヨウレイの3人と共に、ガスの事務所で第一回の会合を開き、これをロータリークラブと呼びました。この日こそロータリーの起源の日であり、国際ロータリー創立記念日となつております。

ロータリークラブの名は、集会を回り持ちで各自の事務所で開き、クラブの世話なども会員が輪番(ローテーション)で受け持つたことから名付けられた。3年後の1908年にはサンフランシスコその翌年にはオークランドと自来同じ組織のクラブが米国内各都市に設立せられ、1910年(明治43年)には国境を越えてカナダに、その翌年には英国に設立されるに至り、ここに初めて国際的な機構を整えるようになりました。

56年前にポール P・ハリスが北米シカゴに播いた一粒のロータリーの種が、現在では117ヶ国(自由国家群)1,800の都市や町に拡がり、50万人以上の会員を持つに至りました。

2. 日本におけるロータリーの沿革

日本に初めてロータリークラブが出来たのは大正9年(1920年)当時三井銀行の重役であつた故米山梅吉氏が本部から委任されて、同年10月東京に設立されたのが始めてで、当時既に855番目のクラブでありました。

次いで大正11年(1922年)大阪に続いて神戸、名古屋、京都、横浜など内地6大都市は勿論、当時日本の法治下にあつた朝鮮、台湾更に満州国にも拡大し、昭和15年にはこれらの地域内にクラブ48、会員2,000名を越す有様でした。

ところが日華事変から太平洋戦争に突入するという機運が濃厚となつて当局の国際的団体に対する圧迫は日に激しくなり、遂に昭和15年心ならずも日本のロータリーは、国際ロータリーから脱退せざるを得なくなりました。

しかしたとえ国際ロータリーの組織から一時脱退したとはいえ、ロータリーの持つ精神と組織は会員の、確信を置くところでありましたので、全国のロータリークラブはあの熾烈な戦時下においても、従来通り毎週例会を開きその伝統を護りつづけて来たのであります。

終戦後、国際ロータリー復帰の要望が高まり、昭和24年(1949年)3月東京、大阪をはじめ7つのクラブが9年振りに国際ロータリーに復帰し、自来急激に各地に設立せられ、北は稚内から南は鹿児島まで395のクラブ16,584名を越える会員を擁するに至りました。

因みに東北即ち352地区はクラブ数49、会員数1,845名、山形県は昭和22年に水曜会として山形市に設立され、之が昭和25年に山形ロータリークラブとして承認され、現在山形RC、山形西RC、米沢RC、上山RC、天童RC、楯岡RC、寒河江RC、鶴岡RC、新庄RC、酒田RCと10クラブ 318名の会員であります。

次いでロータリーの目的、奉仕、活動の実際、更に吾鶴岡RCの活動情況などに就いて、要約してお話下さつたが、紙数の都合により割愛する。

○ 小花会長より高橋秀雄氏に対しての感謝の辞

本日ロータリー創立56周年記念日の佳き日に我がクラブ会員並びに家族が心から感謝の誠を捧げる事になりました。

高橋秀雄さんは鶴岡市冨中町にお住まいでございますが、昭和22年11月以来県立鶴岡盲学校に用務員として奉職して居ります間に、同校の児童生徒を初め多くの一般の盲人の方々が読む図書が少ない事にたく心を動かされまして、忙しい公務の余暇をさき又日直宿直はもとより、僅かの休憩の時間にも用務員室に閑じ込めて、毎日のように点訳の仕事を初められましたのが昭和26年と聞いて居ります。従ひまして今日まで10年間の長きに亘つて、この尊い点訳を続けられ現在まで既に204冊、頁数にして30,200頁、字数では15,000,000字と云う驚くべき大部の点訳図書の完成をなされ、現在も尚この寒空に夜もおそく迄点字タイプを叩いて恵まれない人々に限りない愛情の御仕事が続けられているのでございます。(此の点訳書の主なるものは、前会報に紹介してあります。)この血の溢む様な努力の結晶である点訳書は、鶴岡盲学校はもとより、遠く稚内盲学校や又山形日赤支部を通しては、広く日本中の盲人の方に暖かい愛の贈物として寄贈されて居るのでございます。

又高橋さんは日赤山形県支部長の安孫子藤吉氏より、点訳赤十字奉仕団の副委員長を委嘱され、この方面の指導的地位にある方でございますが、その点訳の正確である事も正に定評があるとの事でございます、学校内でも試験問題、調査問題の点訳に率先力をつくし、学校の先生方の信頼も誠に篤いものがあると承つて居り、之までも鉄道弘済会からは昭和33年には新潟支部長よりの表彰、昨年9月には同じく全国表彰を受けて居られるのでございます。

こうした高橋さんの永年に亘り、一人もくもくとして続けて来た篤行は、ロータリーの創立者ポール・ハリスの言葉の「受くべき利益を考える前に先づ与るべき奉仕に着眼すべきである」と云うロータリーの奉仕の理想に、全くびつたりとあてはまる立派な行いでございまして、私達は今日のロータリー創立記念日を卜して我がロータリークラブの鑑と仰いて皆さんと共に深甚の感謝の誠をおくりたいと思ひます。

尚今日までこの立派なお仕事十年の長きに亘つて続けられて来ました事には、その陰にあつて奥様も並々ならぬ御助力があつた事と存じますが、この席に於まして併せて奥様の内助の功に対しまして深甚の謝意を表したいと存じます。

以上簡単でございますが、クラブを代表致しまして高橋さん御夫妻に対する感謝の辞と致します。

昭和36年2月23日

鶴岡ロータリークラブ会長

小花盛雄

○ 高橋秀雄氏に対して感謝状贈呈

○ 高橋秀雄氏挨拶(要旨)

本日の此の立派な会に招待頂いて尤榮である。

点字本が非常に少ないことを感じ、自分の教養の為にもと思ひ、退屈しのぎにやつて来たもので表彰をして頂くなどということは縁遠いのである。

盲学校に働いているという環境がしからしたとも云える。今後も此の仕事を続けて行き度と思ひます。宜しく御指導、御鞭達の程をお願いする。

○ 会食(鈴木君より試食に頂いたエスミンの説明あり)

○ スライド鑑賞

初めに小花会長外遊時のもの 約170枚

親切な説明をして下され、興味深く拝見す。

次いで今間仕太郎君 外遊時のもの 約150枚

ユーモアに満ちた説明に一同笑いの中に面白く拝見す。

尚今間君、外遊おみやげの各国の硬貨を廻覧させて頂き珍しく拝見す。

○ 手に手つないで

○ 閉会の挨拶 金井(国)副会長

~~~~~

本日の献立

ランチ { えびフライ  
          { ビーフパイ

スコッチエッグ

サラダ { 野菜  
          { สปาゲツテイ

漬物 } お菓子  
御飯 } コーヒー  
          牛乳  
          エスミン



より

ロータリーを表現しよう

或る大都会で道に迷つた土地不案内の人が、老人に道をたずねました。処年の功でその老人はう  
答えました。“私は話すよりも案内する事がもつと良く出来ます”。人は物のたとえの効果を説明す  
る良いたとえ話を探し出す迄には、長い時間をかけるものであります。両親は子供達にどうしなけれ  
ばならないかを言いかせるよりも実際に立派な生活をして見せる方が、遙かに効果をあげる事が出  
来ます。市民は如何したら善良な市民となるかを他人に教える場合は、話をするよりも先ず範を垂れ  
る方が効果をあげることが出来ます。

そこでロータリーに於てはそれについて話をするよりも、我々は真のロータリーアンとなることは  
何を意味するかを自分達の商売上、及び社会的生活に於いて之れを実践し、他人にロータリーの理想  
に従つて、如何に生活すべきかを他人に示すことによつて、一層良い効果を挙げる事が出来るもの  
であります。一個の“ロータリーアンとなることは、何を意味するかを話すよりも、もつとよく案内  
することが出来ます” と如何しておつしやいませんか。

ロバート・マツキントツシ  
スコットランド、ハミルトン  
第102地区国際ロータリー代表